OPEN CAMPUS オープンキャンパス・ 進学相談会日程

第1回 4月23日(日)進学相談会※

第2回 6月18日(日) オープンキャンパス・進学相談会※

第3回 7月 23 日 (日) オープンキャンパス・進学相談会※

第4回 8月27日(日)進学相談会※

第5回 11 月 5日(日) 進学相談会*

第6回 2024 年 3 月 進学相談会*

※進学相談会は対面及びオンラインで開催します。

※新型コロナウイルス感染状況により、日程を変更する可能性があります。

※予約制となる可能性があります。

※開催日時や内容の詳細は、学部ホームページをご確認ください。

オープンキャンパス・ 進学相談会の情報はこちらから

お問い合わせ TEL: 03-6453-1700



ACCESS POEZ

■東急田園都市線 「渋谷駅」から急行で1駅、「三軒茶屋駅」から徒歩約10分

「祐天寺駅」から、東急バス 三軒茶屋行き (約10分) 「日大前」 下車 徒歩1分



CONTACT お問い合わせ

日本大学 三軒茶屋キャンパス

〒154-8513 東京都世田谷区下馬3-34-1

TEL: 03-6453-1600 E-mail:adm.rmss@nihon-u.ac.jp

https://www.nihon-u.ac.jp/sports sciences/





理論と実践で、スポーツの未来を築く。

スポーツ科学部では、 スポーツを理論と実践の両面から研究できる 総合科学と位置付け、体系化しています。

勝利という結果が重んじられる競技スポーツを主な研究対象とし、 コーチング学を中核に捉え、自然科学的な領域のみならず、 医科学や社会科学、形式科学を含め学際的かつ総合的に追究。

競技スポーツに関わる諸問題や課題を発見・解決していく能力を養います。

トップアスリートのほか、コーチ、スタッフ、研究者、行政キャリアなど、 競技力向上に貢献する人材を輩出することが 本学部の使命と考えています。 〈学びの目的に応じて選択できる2コース制〉

ATHLETE

アスリートコース 自らの競技力向上に 関する実践的 理論を学ぶ P.4

SPORTS SUPPORT

スポーツサポートコース コーチとアスリートを 取り巻く環境を含めた サボートの学びを深める

スポーツ科学部3つのポリシー

1.卒業の認定に関する方針 ディプロマ・ポリシー

日本大学スポーツ科学部(学土(体育学))は、スポーツ立国を目指す我が国の競技スポーツの発展に貢献するべく、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」・「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力に基づく本学部における能力を修得したものに、「学土(体育学)」の学位を授与する。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針 カリキュラム・ポリシー

日本大学スポーツ科学部(学士(体育学))では、日本大学教育憲章(以下、「憲章」という)を基に、専門分野を加味した卒業認定に関する方針に沿って学問分野別の教育課程を編成し実施する。 競技スポーツにおける専門的な知識を持つ技術的熟達者としての能力と、諸問題を認識するとともに課題を概念化し解決していく反省的実践家としての実践力として「憲章」に基づく卒業の認定に関する方針として示された8つの能力(コンピテンシー)を養成するために、総合教育、外国語教育、初年次教育、専門教育等の授業科目を各能力に即して体系化するとともに、講義・演習・実験・実習等の授業形態を組み入れた多様な学修方法による教育課程を編成し実施する。また、学修成果の評価は、専門的な知識技能及び態度を修得する授業科目に関しては、授業形態や授業手法に即した多元的な評価方法により、各授業科目のシラバスに明示される学習到達目標の達成度について判定し、「憲章」に示される日本大学マイント及び自主創造の8つの能力(汎用的能力)への達成度に関しては、卒業の達成を測るための授業科目(ゼミナール、卒業研究・卒業論文、専門演習等)の修得状況や到達度と学生自身による振り返り等をもとに段階的かつ総合的に判定する。

3.入学者の受入れに関する方針 アドミッション・ポリシー

スポーツに関わる様々な実践の場において、これまでの教育課程で身に付けた学力を基に、 競技スポーツに関わる諸問題や課題を多様な視点から発見し、それに対する多面的な情報収 集・分析を通して、解決策を導き出す過程を繰り返すことができる能力を身に付ける意志を持 った人材を求める。また、スポーツ科学の最新の知見を活かして競技力の向上を真摯に探求 する、もしくはそれを支える意志のある人材を求める。

> ※3つのポリシーの詳細は日本大学スポーツ科学部 ホームページをご覧ください

教育の目標

コーチングを中核に、医科学、自然科学、社会科学等、スポーツを取り巻く領域を学際的に研究。国際大会で活躍した元選手や指導者、競技スポーツの実務家や研究者、ジュニア育成指導者など、豊富な経験を持つ教員が学習をサポートします。学生が「競技スポーツの実践者」として、日本大学競技部をはじめとする各団体に所属することや学部内に設置される多様な種目のサークルで競技を実践することもできます。2年次以降は、自らの競技力向上に関する実践理論を深める「アスリートコース」と、指導者として、指導者と選手を取り巻く環境を含めたサポートの学びを深める「スポーツサポートコース」と、キャリアに合わせたコース選択が可能です。



スポーツ科学部長 益子 俊志 教授

早稲田大学教育学部教育学科卒業。博士 (医学)。ラグビー7人制 日本代表。指導者としては、元ラグビー7人制日本代表コーチ、元 早稲田大学ラグビー部監督、埼玉県ラグビー成年国体監督などを 歴任。「コーチング学」を主とした授業を担当している。

スポーツを通して 「人間力」を高める

スポーツ科学部には、アスリートとして自身の競技力向上を目指す「アスリートコース」とアスリートを支え同じ目標へ向かう「スポーツサポートコース」があります。多種多様なスポーツの実践、知識修得を通して「反省的実践家」としての能力を養成します。反省的実践家に求められる能力は、課題発見力・解決力、論理的思考力、コミュニケーション力、チームワークといった社会へ出ても必要な能力です。スポーツ科学部では、混沌とした時代にスポーツを通して人間力を高

スポーツ科学部では、混沌とした時代にスポーツを通して人間力を高め、どのような道へ進もうとも自信と誇りを持った人材を養成することを目的としています。

そのために教職員は「すべては学生のために」をモットーに全力で学生教育に力を注ぎます。保護者、指導者とも連携し、学生が積極的に自ら学修する環境、多くの実践的なプログラムを提供していきます。私たちは、学生が生き生きと楽しい賑やかなキャンパスを目指します。





反省的実践家の 思考

「反省的実践」とは、自ら実践しながら 問題や課題を的確に発見・分析し、 解決策を導き出して再び実践にフィー ドバックすること。

CURRICULUM

[4年間の学び]

これまでに本学部にはない「スポーツビジネス論」や「スポーツマーケティング論」といった。より多様な分野から競技スポーツへの理解を深めることができる科目の設置、コーチング現場における様々な問題に対して、実際のコーチング現場に即したより実践的なコーチングを学ぶことができる科目の再編成、合わせて「反省的実践家」の養成をより確実なものとしていくためにカリキュラム全体の見直しを行いました。時代に即した必要な知識を獲得し、その知識を活かして現代の競技スポーツが抱える課題に対し、様々な方法を用いて解決に導くことができる人材の育成を目指します。

1年次 2年次 3年次 4年次

基礎科目(基礎理論に関する知識の修得)

井通科目(基礎理論を土台にして、競技スポーツの諸問題に対応する実践的能力の養成)

実習科目(反省的実践家を養成するために、客観的視点やコーチの立場などから課題発見を行い、多様な情報収集や分析で解決する能力を修得)

コース 選択 5

ATHLETE Pauleland

SPORTS SUPPORT スポーツサポートコース アスリートとしての専門的能力や資質を高めながら、自身の学びをコーチの視点 からもアプローチさせ、将来のコーチとしての能力も育成。

アスリートの競技力向上、大会で本来の力を発揮させるコーチング方法の修得。 競技スポーツにおける支援体制やマネジメント能力、資質を育む。

専門演習・ ゼミナール 選択 競技スポーツ専門演習 I~Ⅳ

ゼミナール Ⅰ・Ⅱ 卒業研究・卒業論文



学びのステップ

1年次 2年次 3年次 4年次 基礎固め スポーツ科学に必要な基礎知識を修得 競技スポーツとは何か、コーチングとはどういうものかなど、 専門演習・ゼミナール選択 4年間の学びの根幹となる考え方を身に付けます。 また課題の発見・分析から問題解決への能力を備えた 「反省的実践家」としての素養を身に付けます。 実力アップ 競技スポーツに関する専門性を高める 自分自身を学びの対象とし、客観的に自己分析する手法を身に付け、 アスリートに必要な専門能力・資質を高めます。 選択 2年次開講専門科目 未来づくり 社会でスポーツに携わるための実践力を養う |■ 技術トレーニング論 ■ 体力トレーニング論 自身の学びが、社会にある「スポーツ」とどのように接続するのか、 ■戦術トレーニング論 「スポーツ」に携わるとはどのようなことが想定されるのかなど、 様々な観点から実践的に学びます。 測定競技論 ■判定競技論 3年次開講専門科目 ■ 専門講習・ゼミナール、 評定競技論 ■ 技術トレーニング論演習
■ 体力トレーニング論演習
■ 戦術トレーニング論演習
■ 測定競技論演習
■ 判定競技論演習
■ 判定競技論演習 卒業研究•卒業論文 ■ 評定競技論演習 新入生キャリア フォローアップ企業セミナー 公務員入門講座Ⅰ~Ⅱ 3年生キャリアガイダンス 各種公務員面接指導 ガイダンス キャリアデザイン講座、 4年生内定者による就活報告会 スポーツ&メディア講座 1~3年 2年生就職キックオフセミナー

CLASS TOPIC



西川 大輔 教授

学生には常に客観的に自己分析を行い、アスリー トに必要な資質や専門的能力を高めるために常 ることが出来るように指導しています。また、理論 に裏付けされた実践知を高め、アスリートとしての 自身の学びをコーチの視点から再構成すること で、将来のスポーツ指導者として日本や世界にお いてスポーツの発展に貢献し、コーチング学を中 心とした様々な広い観点から問題解決が出来る ための教育も行っています。また、本学部はスポー ツ分野における「反省的実践家」としての能力を養 成することを目的としているため、常に自ら考え、 自ら行動が出来、豊かな想像力と自主性を持って



久米 乃ノ華 さん

これまでのトレーニングの ブラッシュアップを求めて

私がアスリートコースを選択した理由は自分のト レーニングをよりよいものにしたかったからで す。アスリートコースではトレーニングを技術、体 力、戦術という視点に分けて考えます。私はス ポーツクライミングを専門としていますがそのよ うな視点にわけて考えたことはなく、さらに他競 技のトレーニングがどうなっているのかもあまり よく知りません。この授業で得た知識などを通し て自分のトレーニングに活かしていきたいと考

SPORTS SUPPORT

学びのステップ

選択

1年次

2年次

3年次

専門演習・ゼミナール選抜

4年次

基礎固め スポーツ科学に必要な基礎知識を修得

競技スポーツとは何か、コーチングとはどういうものかなど、 4年間の学びの根幹となる考え方を身に付けます。 また課題の発見・分析から問題解決への能力を備えた 「反省的実践家」としての素養を身に付けます。

実力アップ アスリートを支える専門知識を深める

アスリートの競技力向上をサポートする手法を学び、スポーツ活動を支援する ための専門的能力を身に付けていきます。

- 2年次開講専門科目 スポーツ制度・行政
- スポーツ経営管理
- スポーツ測定評価
- チームマネジメント論
- アスレチックリハビリテーション

未来づくり 社会でスポーツに携わるための実践力を養う

自身の学びが、社会にある「スポーツ」とどのように接続するのか、 「スポーツ」に携わるとはどのようなことが想定されるのかなど、 様々な観点から実践的に学びます。

3年次開講専門科目

- ■コーチングのための栄養学
- スポーツマッサージ演習
- スポーツ測定評価演習
- チームマネジメント論演習
- ■アスレチックリハビリテーション演習 ■ スポーツマネジメント演習 1・11

新入生キャリア

ガイダンス

公務員入門講座Ⅰ~Ⅱ

2年生就職キックオフセミナー

キャリアデザイン講座、 4年生内定者による就活報告会

3年生キャリアガイダンス

フォローアップ企業セミナー 各種公務員面接指導

■専門演習・ゼミナール

卒業研究•卒業論文

CLASS TOPIC



辰田 和佳子 准教授

栄養・食支援は、競技者にとって重要なコンディ ショニングの一要素である健康・栄養状態を維 持・改善するためのものです。健康・栄養状態を良 好に保つことができれば、パフォーマンスを向上 させるために計画立てられたトレーニングの実施 が可能になります。大学での一連の学びでは、現 場的な視点から課題を抽出し、整理し、根拠をもっ て改善に向けた取り組みを進める能力を身につ けていくことを目指しています。競技者のために 支援者ができることは限られています。しかし、自 分にできることを明確にし、「誰に」「いつ」「どのよ うに役立つのか」を常に考え、行動できる人材を育 成できるよう授業づくりをすすめています。



久松 千宝 さん

スポーツに関するスペシャリストによる。 90分間はあっという間

「You are what you eat」とあるように食事 は、健康を保持するために欠かせない要素です。 スポーツ栄養学の授業では、スポーツを行う際 に起こりうる様々な問題を取り上げ、栄養学の 観点から対策や改善策を見つけます。また、学ん だ知識を活かして、日頃の食生活を振り返り、個 人に合わせた食事メニューについて考えます。身 につけた知識は、自身のパフォーマンスやコン ディションを改善することに役立てることがで

仕組みを知る。 そこから支援を見出す。

スポーツ活動を支援する人材を育成する。

アスリートの競技力を向上させ、競技会で本来の力を十分に発揮するための コーチング方法を学修。競技スポーツに関わるサポート体制を学ぶことで、 スポーツ活動を支援するための専門的能力・資質も育みます。

さらに、「スポーツ制度・行政」、「スポーツ経営管理」といった専門科目から スポーツマネジメントに関する理解を深めることができます。



CAREER SUPPORT キャリアサポート



キャリア支援体制



三軒茶屋キャンパスの正課科目は、大学と社会とをつなぐ「社会人基礎力」 等のコンピテンス・ベースの自覚的な学びとなっており、キャリア教育の一 部を構成しています。3.4年次には、ゼミナールの担当教員を含む全専任教 員が就職活動の状況を共有し、学部一丸でキャリア形成の支援を行ってい ます。キャリア支援プログラムは危機管理学部との共同運営であり、公務 員講座やDMM英会話もあります。一斉授業方式を補完して個々の学生の キャリア形成をきめ細かく支援するために、三軒茶屋キャンパスでは専門 のキャリアカウンセラーを配置し、随時学生の相談に応じています。日本 大学本部が開設する公務員相談コーナーのブランチも設置され、公務員に 特化した様々な相談をすることができます。

三軒茶屋キャンパスでは、1年次から学べる公務員対策講座 を独自に開講しています。また、公務員相談コーナーが開設 され、公務員試験に関するあらゆる質問を専任の相談員に

スポーツ業界就活講座

スポーツメーカーやスポーツメディア業界は人気就職先の一 つ。スポーツ関連企業に就職するには、早いスタート(準備)を 切ることが重要です。1年次から受講可能な本講座は、スポーツ 業界で働く専門家を講師に迎え、現場の生の声や就活の秘訣、 またスポーツ業界で働くことを正しく理解し、希望に叶った就 職が実現できるよう自ら行動する力や発言する積極性を学んで

自分を 知る

●やりたいこと ●価値観

充実した 自己分析 学生生活 ●できること

知る

業界•企業研究

社会を

- ●理念 ●ビジネスモデル
- ●社風、人材要件

相手に 伝える

プレゼンテーション ●筆記試験、適性検査

●履歴書、ES

充実のプログラムで、

学生一人ひとりをきめ細やかにバックアップします。

三軒茶屋キャンパスのキャリア支援プログラムは、充実した学生生活に立脚しながら「自分 ・・・・ー を知る」(自己分析)、「社会を知る」(業界•企業研究)、「相手に伝える」(プレゼンテーショ ン)という三つの力を増進させるという考え方に基づき、自己分析、業界・企業研究、エント リーシート作成、適性検査対策、模擬面接等の講座を体系的に配置しています。

DMM英会話

この講座では24時間365日いつでもオンラインによるマン ことができ、120ヵ国、7,000名の講師から自分にぴったりの 講師を見つけ、1日1回25分のレッスンをリーズナブルな受講 料で受講することができます。

留学・国際交流

スポーツ科学部では、日本大学主催の短期海外研修や派遣留学プログラムを積極的に推奨しています。

主な留学先はイギリス、アメリカ、オーストラリアなど。グローバル社会に必要な英語のスキルアップとともに 異文化理解や多様な価値を受け入れ、高いコミュニケーション能力を身に付けることを目指します。

長期留学プログラム

●ウェスタンミシガン大学(アメリカ・8月~約1年間) ・正規課程コース・語学研修コース

ウェスタンミシガン大学は、ミシガン州カラマズーにある1903年 創立の州立の総合大学です。カラマズーは、デトロイトやシカゴ から車で2~3時間程度に位置し、治安も良好な街です。



日本大学主催 短期海外研修

- ●サマースクール(8月) ・ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ サマースクールCEP(イギリス)
- ●スプリングスクール(2月~3月)※学部1年生対象 ・ボンド大学カレッジ(オーストラリア)

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。

大学院情報

令和5年度

日本大学大学院スポーツ科学研究科 新設

令和5年度より新たに設置された日本大学大学院スポーツ科学研究科は、 スポーツ科学に関する研究を通して、競技スポーツが抱える諸問題を認識し、 課題を概念化しそれを解決していく反省的実践家としての課題解決能力を高 めることを重要視しています。国内外の知見から競技力向上に関する高度な 専門性を身につけ、グローバルにスポーツ科学研究を実践できる能力を持っ た人材を養成することを目的としています。



私は大学4年生の時に 自身の研究を更に良いものに したい、多くの人に知ってもらいたいと考え、大学院 進学を決意し、現在も大学時代と同じテーマで研究 をしています。大学より専門性の高い学びが大学院 の魅力の一つであると感じています。学業面では自 身の研究を学会発表する事を目標に、競技面ではパ リ五輪出場を目標に活動をしており、文武両道を目指 しています。

スポーツ科学研究科1年

就職実績

公務員講座

スポーツ科学部学生の約82%が 一般企業へ就職しています。





(製造業)コカ・コーラボトラーズジャパン、日本製鉄 〔運輸業〕東日本旅客鉄道、東武トップツアーズ

スタンレー証券、ジャックス [教育・学習支援]学校法人日本大学 、 (サービス業)電通キャスティングアンドエンタテインメント 福岡ソフトバンクホークス、ニトリ、セントラルスポーツ

その他,プロスポーツ選手として競技継続。

[国家公務員]陸上·航空自衛隊

(市役所)相模原市役所、所沢市役所、三浦市役所 (警察)警視庁、新潟県警、兵庫県警、山形県警、熊本県警

(消防)東京消防庁

内定者紹介

データスタジアム株式会社

幼い頃から数字やデータを見るのが好きだったこと、さら に大好きな「スポーツ」に理系の分野が絡んだ学問に魅力 を感じ、この学部を選びました。実際に理系的要素の強い スポーツバイオメカニクスという領域のゼミナールに所属 し、様々な分析を行いました。その中で「楽しさ」を覚え「今 の自分がやってみたいこと」を素直にできる可能性が高い 環境に身を置くべきだと感じ、その思いを率直に伝え、「ス ポーツのデータ」に関わる企業に内定をいただくことがでスポーツサポートコース きました。勉強、部活、バイト、遊び、趣味と学生生活を充実 させたことが、私の成長につながったと思います。



武智 茉愛 まん

東日本旅客鉄道株式会社

学生生活での4年間で、スポーツを通して様々なことを幅 広く学んだことが就職活動に活きたと実感しています。自 <u>分自身は、高校まで野球を行っていましたが、新たに体育</u> 会陸上競技部で長距離走を始め、授業で学んだことを競技 に活かす考えで取り組みました。中でも栄養学関連の授業 やトレーニング計画論、他競技の学生とのグループワーク といった演習授業によって、計画する力や観察力が身に付 き、就職活動を計画的に自分自身の適性を考え、行うこと ができました。入社後は、安全を第一に考え、社員目線とお 客様目線でヒトの流れを観察して、人々の生活を豊かにで きる一員になれるように努力します。

10



スポーツサポートコース 中川 直人 さん

学生生活サポート

修学支援制度·奨学金

日本大学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校に認定されており、そ の対象となった受験生は入学後に授業料が減免されます。また、奨学金も家 計困窮者の支援を目的とした日本大学創立130周年記念奨学金(第2種) (30万円給付)など、学内外を含め充実しています。

保健室・学生支援室

保健室には看護師が常駐し、ケガの応急処置や健康相談、大学近隣の医療 機関の案内や、日本大学病院への紹介状作成などを行っています。学生支 援室では、教職員・保健室と連携し、臨床心理士の資格を持つカウンセラー 支援をしています

学生寮・提携学生寮

日本大学では、複数の大学直営寮(男子寮・女子寮)を完備し、経済面・安全 面の両面から、一人暮らしをする学生の学修を支援しています。入寮時の初 期費用がほとんどかからず、基本的な家具・家電などの生活必需品が揃い、 インターネット接続も無料です。提携学生寮では、寮長・寮母が常駐し、朝・ タの食事がついています。全室個室で家具類は備え付け、共用設備も充実し ており、快適な学生生活が送れるように様々な配慮がされています。



詳細はこちら

学生寮の 詳細はこちら

スポーツサポートシステム

アスリート

医学、生理学、バイオメカニクス、心理学、栄養学などをはじめとする 様々な領域の研究成果に基づき、日本大学所属のアスリートを中心 に競技力向上に役立つデータやアドバイスを提供することを目的と するシステムです

競技力向上に必要とされる充実した設備、最先端のトレーニング器 具・機材、映像技術・情報技術を活用し、多彩な分野の研究者、医師 などの専門家集団が連携し合うことで、アスリートにとって最適で 有益な評価・診断を行います。

また、部門ごとにアスリート、コーチ、監督を対象とした講習会等を

ADMISSIONS [令和6年入学試験情報]

合型選:

募集人数 68名

出願資格(いずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力がある と認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に 達している者。

出願要件(すべてに該当する者)

- ①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部 への入学を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを
- ②スポーツ活動あるいは運動選手の支援(マネージャー等)で顕著な 活躍が認められた者で、かつ本学部に入学を強く希望する者。

【入試日程及び選考方法】

総合型選抜説明会

羊細はスポーツ科学部ホームページで周知します。

出願書類
①出願確認票(マイページから出力)
②志望理由書(学部指定用紙)

③スポーツ活動歴とその証明書(学部指定用紙)記入及び

インターネット上での登録

④スポーツ活動等状況調査票(学部指定用紙) ⑤出身高等学校等調査書等

出願期間 令和5年9月14日(木)~9月22日(金)【簡易書留(郵送必着)】

▼ 第二次選考試験日 令和5年10月28日(土)

選考方法 ①課題レポート ②プレゼンテーション

3 口頭試問及び面接

※課題レポート及びプレゼンテーションに関する口頭試問

· 合格発表日 令和5年11月11日(土)(マイページ)

※詳細は、スポーツ科学部ホームページから募集要項をご確認ください

般選抜

方式	学科·募集人数	試験日·試験会場	受験教科科目数		教科•科目	配点
	競技スポーツ学科 70名	令和6年 2月4日(日) 三軒茶屋 キャンパス	3教科3科目	外国語(60分)	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」を出願範囲とする。	100
A個別方式				地理歴史 公民 数学 (60分)	「日本史 B」、「世界史 B」、「政治・経済」、「数学 I (データの分析を除く)・数学 II・数学 A・数学 B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択	100
				国語(60分)	「国語総合(漢文を除く)」	100
				※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。		

※A 個別方式は、スポーツ科学部が独自に実施する試験で、併願することはできません。

Name and Park			SALES TARREST	- BANKER WAR		
方式	学科・募集人数	試験日・試験会場	受験教科科目数	教科・科目		配点
N全学統一方式(第1期)	競技スポーツ学科 10名	令和6年 2月1日(木)	2教科 2科目	外国語	「コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語II・英語表現 I・英語表現 I」を出題範囲とする。	100
				国語 地理歴史 公民 数学①	「国語総合(漢文を除く)」、「日本史 B」、「世界史 B」、「地理 B」、「政治・経済」、「数学 I・数学 I・数学 A・数学 B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから 1 科目選択	100
				※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。		
N全学統	競技スポーツ学科 5名	令和6年 3月4日(月)	2教科 2科目	外国語	「コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 II・英語表現 II 英語表現 II を出題範囲とする。	100
-統一方式(第2期)				国語 地理歴史 公民 数学①	「国語総合(漢文を除く)」、「日本史 B」、「世界史 B」、「地理 B」、「政治・経済」、「数学 I・数学 II・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから 1 科目選択	100
				※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。 ※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。		

▶詳細は「日本大学 スポーツ科学部入試情報ホームページ」をご覧くださ https://www.nihon-u.ac.jp/sports_sciences/admissions/



	種別	項目	初年度納入金額			
	作里力リ	块 日	入学手続時	後学期(9月)	計	
が主体が決定が	学費	入学金*1(初年度のみ)	260,000円		260,000円	
		授業料	400,000円	400,000円	800,000円	
		施設設備資金	150,000円	150,000円	300,000円	
		実験実習料	50,000円	50,000円	100,000円	
	その他	日本大学三軒茶屋キャンパス後援会費	15,000円	15,000円	30,000円	
		日本大学校友会準会員(在学生)年会費※2	10,000円		10,000円	
27		計	885,000円	615,000円	1,500,000円	

※1納入金は変更になる場合があります。必ず入学試験要項(募集要項)をご確認ください。 ※2 卒業年度後学期に正会員会費初年度分を10,000円納入。

スポーツ科学部よくある質問 受験生の皆さんからよく寄せられる質問をまとめました。

「アスリートコース」と 「スポーツサポートコース」の 違いは何ですか。

一番の違いは学びの対象です。

いずれのコースも身体能力や競技環境に向き合い、"言語化でき るコーチング"を目指します。

ATHLETE

「アスリートコース」

競技者である自分自身が学びの対象です。自身の トレーニングを細分化して検討したり、専門とする 競技をもう少し大きな枠組みで考えたり、自身にま つわる競技種目全体を新たな視点でとらえます。



「スポーツサポートコース」

他の競技者を学びの対象とします。競技者が持つ 身体的能力を引き出すために必要な様々な知識 や、スポーツ経営管理やスポーツ制度・行政など 競技スポーツを取り巻くサポート体制を学び、専門 的視点から競技活動を支援するための学びが展開

スポーツ科学部で 取得できる資格について 教えてください。

卒業と同時もしくは在学中に取得できる資格が5つあります。 取得方法はそれぞれ条件が異なります。

- 1 初級パラスポーツ指導員
- 2日本サッカー協会公認C級コーチ
- 3キャンプインストラクター
- 4日本スポーツ協会 (免除適応コース共通科目 I・Ⅱ・Ⅲ、水泳コーチ、スポーツリーダー)

⑤JATI 認定トレーニング指導者資格

教員免許は取得できません。ただし卒業後に科目等履修生として 文理学部の教職課程(体育)を履修し、最短3年程度で教員免許 を取得する方法があります。各種要件、条件等詳細については、 お問い合わせください。



運動が得意ではありません。 アスリートじゃなくても 授業についていけますか。

実技内容やパフォーマンスを

直接的に評価することはありません。

ご自身の競技力は成績評価の対象ではありません。講義やディス カッション、ロールプレイングを中心として、理論を競技活動へ活 かす学びを提供します。



サークル活動等でスポーツを することはできますか。

「スポーツ科学部体育会」というクラブ活動があります。

週2~3日程度の練習を通して仲間との絆やチームワークを築き ながら、授業で学んだ理論を実践します。日本大学体育大会や地 域の大会に出場するなど精力的に活動しています。

種目は、陸上、バスケットボール、水泳、バレーボール、サッカー、バ ドミントン、スポーツクライミング (大会出場レベル)です。 その他、併設されている危機管理学部の学生と混合の、室内競技 を中心としたサークル活動があります。

